

大池ハザードマップ

いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に。
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に。
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難。
- ・ため池直下（2m～2.5mの水深予想）：速やかに避難路を使って高台へ。
- ・ため池直下以外（50cm未満の浸水予想）：建物の2階などに避難し、水が引いたら高山コミュニティセンター、みかさ小学校に避難。

大池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、いざ防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

避難施設
高山コミュニティセンター



20分後

30分後

40分後

50分後

60分後

5分後

10分後

3分後

古高山集落

避難施設
みかさ小学校

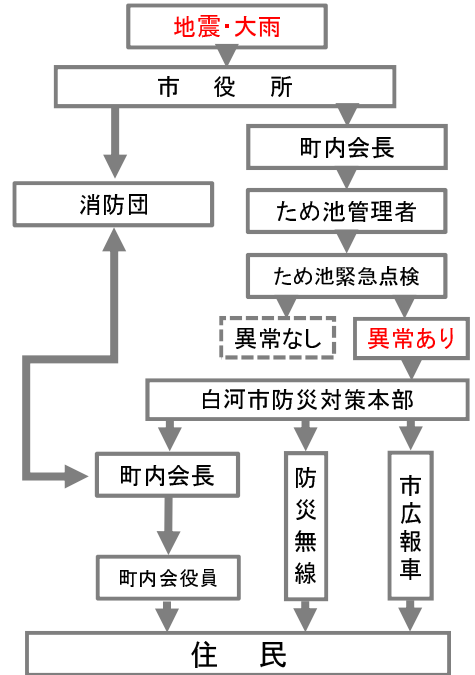


大池

凡例

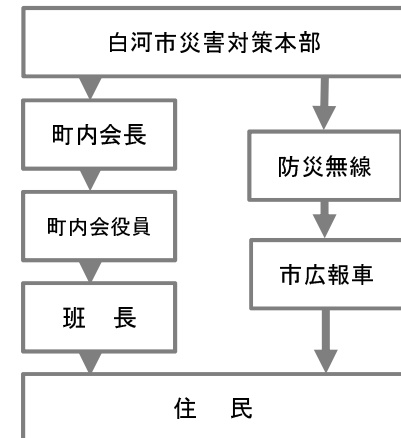
最大水深	
0.0m～0.5m	0.5m～1.0m
1.0m～1.5m	1.5m～2.0m
2.0m～2.5m	2.5m以上

緊急時の大池管理体制 ～災害時の情報伝達の流れ～



災害時の情報伝達の流れ

※災害や避難の情報を伝達します



行政機関等連絡先

名称	電話番号
白河市災害対策本部 (白河市役所)	0248-22-1111
白河地方広域市町村圏消防本部	0248-22-1145
消防・救急	119
白河消防署	0248-22-2155
警察	110
白河警察署	0248-23-0110

地震のあとの災害シナリオ

時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線	被害の情報収集		
被害	古高山集落に水が到達					
	○決壊しない場合 緊急放流で水位低下・点検					
	※地震直後に決壊しなくても、数日後に決壊することがあるため、監視を継続					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る揺れがおさまったら、高台や安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し、町の指示を待つ	